



発行所 日本工業大学 広報課 埼玉県南埼玉郡宮代町 郵便番号 345 電話 04803(4) 4111

50年度決算 51年度予算 報告

本学が工業高校生に開いている全開唯一の大学として、その特長ある教育を実施し、更にそれを進ばせて行くために、教育と表裏の関係にある財政の健全化を目指して来ました。四十八年に学費の改訂について検討し、四十九年より五十一年迄の四年間の諸計画を立てられましたが、その後オイルショック等の世界的な経済事情により予想を大きく上回る支出増となり計画された五十年度未償入金(前受金の消費額を含む)が約二億円上回る結果となりました。創立当初計画された施設については、一部を除きほぼ完成し、設備の内、教育設備については年々充実して来ておりますが、研究設備についてはこれからと言えます。創立十年目に入り、設備の充実と教育研究費の確保が課題となって来ております。

昭和50年度 決算報告

五十年度の全収入と支出を大要期待しておりますが、当年記載した資金収支計算書と、期末に於ける資産・負債及び基本金の内容を示す貸借対照表を公表し、本学の財政的な立場を明らかにして全学の理解と協力を得たいと考えます。資金収支計算書、国庫補助金のうち経常経費補助金について

昭和50年度資金収支計算書

収入の部		金額	支出の部		金額
学生納付金	575,000,000	959,215,000	人件費	595,197,362	
授業料	87,400,000		教育研究費	74,876,655	
施設費	72,110,000		設備費	115,218,142	
手寄金	224,705,000		経常経費	147,617,548	
国庫補助金	10,973,700	貸付金	97,715,549		
地方交付金	23,982,678	借入金	171,764,216		
国庫補助金	222,963,000	繰上金	116,160,329		
地方交付金	12,861,997	繰下金	61,525,079		
国庫補助金	312,936	繰上金	54,635,250		
地方交付金	476,925,000	繰下金	45,754,973		
国庫補助金	200,000	繰上金	45,754,973		
地方交付金	21,188,315	繰下金	405,541,800		
国庫補助金	19,528,899	繰上金			
地方交付金	1,659,416	繰下金			
国庫補助金	341,585,000	繰上金			
地方交付金	42,645,000	繰下金			
国庫補助金		繰上金			
地方交付金		繰下金			
収入の部合計		1,719,764,126	支出の部合計		1,719,764,126

資産の部		金額	負債の部		金額
固定資産	2,564,355,585	3,019,539,700	固定負債	1,166,900,333	
建物	497,094,040		長期借入金	1,131,570,000	
構築物	1,368,616,990		退職給付引当金	35,330,333	
機械	34,048,609		流動負債	542,208,872	
器具	77,150,000		未払金	45,754,973	
備品	448,362,005		未払金	476,925,000	
図書	9,074,189		未払金	19,528,899	
車両	126,773,404		基本金の部		
船舶	3,236,348		基本金	1,532,526,617	
その他の固定資産	2,328,703		消費収支差額の部		
債権	611,577		消費支出超過額	222,096,122	
貸付金	1,217,126				
預貯金	500,000				
現金	452,855,412				
流動資産	166,202,631				
現金	239,339,169				
預貯金	115,000				
現金	42,530,000				
預貯金	4,668,612				
合計	3,019,539,700	合計	3,019,539,700		

創立十年目を迎えて

学長 藤岡通夫

日本工業大学は、本年の六月二十九日をもって創立十年目を迎えました。創立当初、現在の一層の半分と若干の実験室しかなかった当時を考えると、この九年間の本学の発展は、目覚ましいものであったと思われまふ。大学は少なくとも十年を経過しなければ、国立といえども大学のしい施設を整えることはできませんが、まして昨今のような経済変動の激しい時期には一層困難が増します。しかも本学は私学であり、経営の困難な時期にあつて、ようやくここまで来たものと、感慨無量なものがあつた。

それにはおかげさまで、多くの歳月を要し、その教育内容は、技術的な面より科学的な面が増えているといわれています。つまり工学の基礎は、特色のある教育が行なわれてきたこと、時間的制約もあつて、技術教育の面で十分な教育を行つてきたこと、それと共に考えて行かなければならないのは、教育内容の改善です。本学は御承知の通り、主として工業高校の卒業生を入学させている、日本た一つの大大学ですが、それは若年から実験・実習を重んじ、実地的技術に傾けられる教育を行つてきた工業高等学校に接続するよう計画されたものです。最近、一般の新興大学工学部

工学関係の大学が全部色になり、特色のある教育が行なわれることも日本の工業を発展させる上で重要なことと考へます。しかし簡単に言つても、実際には工業高校の卒業生を迎へるべきで、工業において専門、特に体系的学習により習得した基礎の上に立つた教育内容を考えれば、本学の特色は発揮し得ないと考えますが、現在の段階は決して十分でないと考えています。そこで今後考えられることは、工業の弱点である工学の基礎を充実すると共に、専門では短期期間で、一般教育と専門教育を組み合わせることで、境界領域や複合領域にまで進め

開学当初予定の 施設計画もおおむね達成

今後は設備の充実を図る

本学は、昭和四十二年に開学して以来、数えて十年目を迎へ、来年は創立十周年記念式典を挙行するまでになった。十年前の現校地は一面のたんぼであつたが、毎日新しい施設の建設が続けられ、この程ようやく所期の計画を完成する見通しとなった。この間、異状なまでの物価高騰のありをまともに受けて事業の遂行は困難を極めたが、しかし、一方、私学振興財団からの借入金等による思い切つた施設投資が逆に物価高騰の波に乗つて、結果的に幸いた面もあると考へられる。

また、天元山荘関係は一部施設は、後援会の大きな協力により建設されたものであり、開学以来十年間の施設計画事業を振り返ると、本学関係者の努力のあつたことありと眺むることが出来る。

今後は研究・実験設備の向上の充実をはかり、本学の質の向上を期しなければならぬ。

次に、先の大学通信に掲載した「施設計画の展望」に続けて、昭和四十五年より五十一年までの五年間における完成施設ならびに、昭和五十一年以降施工予定の施設について、次に掲げる。そのうち※印がついてゐるのは、目下検討中であり、確定してゐるわけではないが、参考までに掲載する。

昭和51年度資金収支予算書

収入の部		金額	支出の部		金額
学生納付金	623,095,000	1,045,140,000	人件費	719,538,340	
授業料	84,000,000		教育研究費	96,297,233	
施設費	69,775,000		設備費	150,949,000	
手寄金	268,270,000		経常経費	173,410,000	
国庫補助金	12,300,000	貸付金	53,400,022		
地方交付金	102,150,000	借入金	231,986,000		
国庫補助金	255,320,000	繰上金	73,316,000		
地方交付金	12,000,000	繰下金	158,670,000		
国庫補助金	300,000	繰上金	102,595,872		
地方交付金	404,000,000	繰下金	45,754,973		
国庫補助金	42,645,000	繰上金	19,528,899		
地方交付金	435,000	繰下金	37,312,000		
国庫補助金		繰上金			
地方交付金		繰下金			
収入の部合計		1,802,906,800	支出の部合計		1,802,906,800

昭和51年度 予算について

一、数年来ほとんど増えていない教育経費、特に実験経費について一千万円増額した。

二、懸案となつてゐた物理実験棟の建設、学生談話室の建設を實現する。

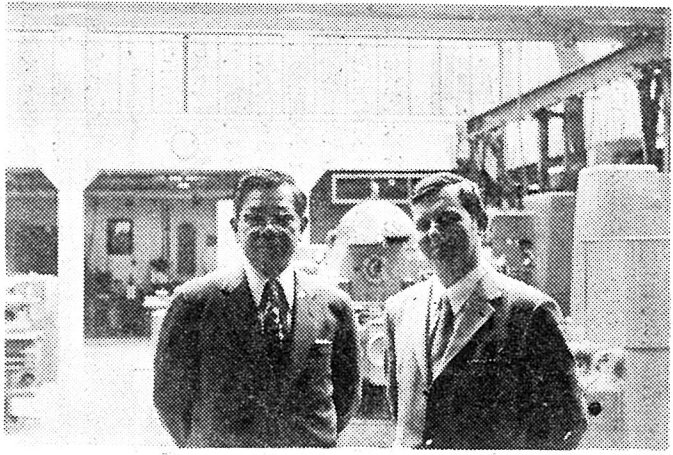
三、新設学科の教育用機器備品の充実。

四、人件費の国家公務員ペーセスを確保する。

本年度の予算を見ますと、人件費は授業料・経常経費補助金の86%を占めております。この比率が70%を越すと他の経費を圧迫する事になると思はれますので、早急な改善が望まれます。

ドイツにおける現業実習について

教務部長 大川陽康教授



ミュンヘン大学工作機械実験室で筆者(左)とライカ教授

五月のドイツは年中でいちばん素晴らしい季節で、その時期に、ドイツを訪問することが出来たのは、私にとって生涯の思い出になる。冬から目覚めた自然が、いっせいに活動を開始し、その勢いが盛り上った時は五月のようだ。桜、リンゴ、梨をはじめ、春夏の木々草花が一度に咲き誇る。その背景の新鮮な空に大きな喜びを感じた。

さて、各大学共通の通じ事項について、まずは、すべての工科系大学が卒業する条件として、現業実習(Praktikum)を二十週間以上とし、建築学科は二十四週間、工学系は三十週間以上である。これは、一週を四十時間として、普通一週を四十時間として、これらの実習の内容が、およそプログラムは、各大学によって多少異なるが、大学は各々、企業との協力を図り、企業にその実習の場を提供する。細かいプログラムは各々企業独自の視点によるもので、大学からは一切口出しはしない主義である。

その内容は基本習と、応用的そして専門的または専攻分野についての実習に大別される。入学してからの各々の指導はそれぞれ別の会社、企業内のエンジニアまたはマンナ一の称号を持った人々が担当し、その実習の内容も、マンナ一は熟練した称号で、このインターンシップを取った場合は、非常に多くの年月の実務経験がある。試験に合格して来なければならぬ。入学後の実習は、学期間の休暇中に行う学生が大部分で、なかに夏季実習を交えて企業に出ている学生もいる。その内容は、基本習と、応用的そして専門的または専攻分野についての実習に大別される。入学してからの各々の指導はそれぞれ別の会社、企業内のエンジニアまたはマンナ一の称号を持った人々が担当し、その実習の内容も、マンナ一は熟練した称号で、このインターンシップを取った場合は、非常に多くの年月の実務経験がある。試験に合格して来なければならぬ。入学後の実習は、学期間の休暇中に行う学生が大部分で、なかに夏季実習を交えて企業に出ている学生もいる。その内容は、基本習と、応用的そして専門的または専攻分野についての実習に大別される。入学してからの各々の指導はそれぞれ別の会社、企業内のエンジニアまたはマンナ一の称号を持った人々が担当し、その実習の内容も、マンナ一は熟練した称号で、このインターンシップを取った場合は、非常に多くの年月の実務経験がある。

現業実習の受入れを認めた企業は、大学と協力を結ぶことになる。企業は、現業実習の受入れを認めた企業は、大学と協力を結ぶことになる。企業は、現業実習の受入れを認めた企業は、大学と協力を結ぶことになる。企業は、現業実習の受入れを認めた企業は、大学と協力を結ぶことになる。

現業実習は、本場の意味で言えば、実習といえるのではないが、技術が高度化するほど、基本的な技能、技術の認識こそ大切なものであることは多くの識者の語るところである。個々の大学の見聞録や会社の状況等については、いずれも改訂して報告したが、最後にドイツ、スイスの二、三の学生(二年生程度)に会ったが、自分の目的意識が極めて具体的に、驚いた。たまたま、粉末冶金の分野で鍛造をやっていたなど、ドイツもスイスも技術的実習は、職歴も極めて熱心で、約四〇〇名以上の職業者を養成している。静かだが、()とした。本学でも……と反論的に考えてしまっている。このたびの調査についてドイツの大学ならびに会社の関係者の親切が忘れられない。感謝する次第です。

私が今回ドイツを訪問した目的の一つは、永い間私の研究課題の一つである「工業技術教育における現業実習」について、ドイツの状況を調査するためであった。この問題は、本学の設立主旨である「実務能力のある高級科学技術者の育成」という目標と非常に関連している。調査報告した。

現業実習の実態

今回の調査対象として選んだ大学は、ハノーバ、ミュンヘン、ライプツィヒの各工科大学、及びスイスのチューリッヒ工科大学。いずれも創立百年以上も経つ伝統のある四校であり、それと現業実習教育に関連があると思われる会社と、私の専門分野である機械加工業に関連している工場を選んだ。本来ならば、各大学及び会社からいただいた資料を詳細に検討したが、その報告が大量となり、編纂から本稿の希望期限の関係で、冊子版に早く書いて取り上げた次第で、将来、訂正すべき箇所が生ずる場合は、予めご容赦願います。

ハノーバ大学

今回の調査対象として選んだ大学は、ハノーバ、ミュンヘン、ライプツィヒの各工科大学、及びスイスのチューリッヒ工科大学。いずれも創立百年以上も経つ伝統のある四校であり、それと現業実習教育に関連があると思われる会社と、私の専門分野である機械加工業に関連している工場を選んだ。本来ならば、各大学及び会社からいただいた資料を詳細に検討したが、その報告が大量となり、編纂から本稿の希望期限の関係で、冊子版に早く書いて取り上げた次第で、将来、訂正すべき箇所が生ずる場合は、予めご容赦願います。

就職事務開始

十月一日以降に

就職事務開始の月日は、昭和51年10月1日です。その内容は、昭和51年10月1日採用試験開始の月日は、昭和51年10月1日です。その内容は、昭和51年10月1日採用試験開始の月日は、昭和51年10月1日です。

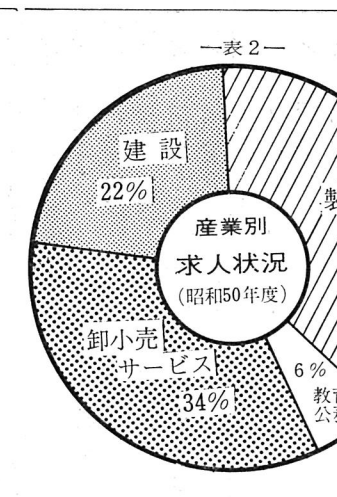
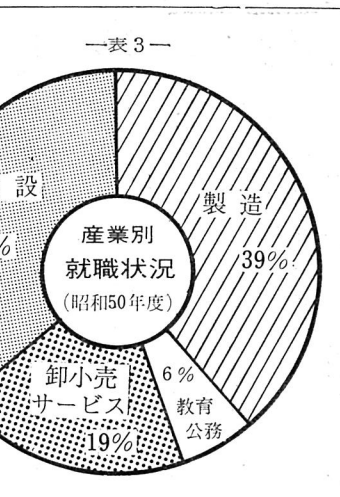
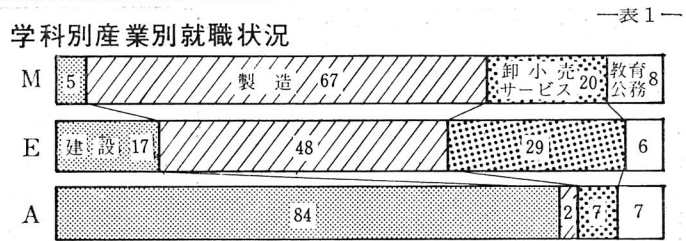
50年度就職状況

五十年における本学の就職状況は、大企業への就職が顕著な傾向にあり、求人数は増加傾向にあり、就職率は高い水準を維持しています。

天元山荘宿泊料改訂

昭和51年8月1日から実施

	改訂	暖房料	現行	内暖房料
学園生	1100円	300円	900円	(200円)
学園職員	2000円	300円	1000円	(200円)
学生会	1200円	300円	1200円	(200円)
学生会	2000円	300円	1500円	(200円)



全学科の就職率は七四%だが、これは採用のあった者で、また就職率は就職希望しているものと見られる。また、地方就職者は全体の三四%にも及び、Uターン現象が顕著に示されている。

読書と教養

図書館長 三浦勲郎教授

今年の新生のオリエンテーションの時、私は、藤岡学長の言葉...

これは、これまでもいっているが、よく考えなさい、分った...

手紙が、この教養と、この教養と、この教養と...

この教養は、ほかの人に代って、考へてもらうわけにはいか...

深い教養を身につけるためには、読書は絶対に欠かせない。

私はどうも、本当の友だちと云ふような作品や作家に巡り...

ヘルマン・ヘッセの詩をひとつあげておこう。

陽や星や月を見つめ、それでも自分の世界を組み立てていく...



新入生歓迎音楽祭

キャンパス行事たけなわ

去る五月二十九日、文化団体連合会(会長・植松康彦)主催...

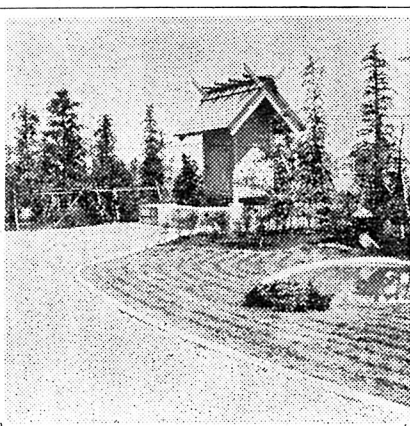
一方、体育関係の行事も盛んに行われている。六月一日から...

球大会が、熱戦の火をまき、また、七月三日、四日には...

が飛びかかった。勝つて、共に美酒を味わえなかつたか?



ソフトボール大会より



天満宮遷座奉祝祭挙行

学問の神、菅原道真公を祭った天満宮社殿が、本学東門の一隅に建立された。...

後援会文庫の紹介

昨年、後援会からの寄附金により、千四百四十冊の圖書を購...

Table listing various books and their authors, organized by category such as '都市問題' (Urban Issues), '自然科学' (Natural Science), and '文学' (Literature).



長谷川二郎教授逝去 前機械工学科教授・長谷川二郎氏は、去る六月十八日午後五時頃...